

お客様各位

カタログ等資料中の旧社名の扱いについて

2010年4月1日を以ってNECエレクトロニクス株式会社及び株式会社ルネサステクノロジが合併し、両社の全ての事業が当社に承継されております。従いまして、本資料中には旧社名での表記が残っておりますが、当社の資料として有効ですので、ご理解の程宜しくお願ひ申し上げます。

ルネサスエレクトロニクス ホームページ (<http://www.renesas.com>)

2010年4月1日

ルネサスエレクトロニクス株式会社

【発行】ルネサスエレクトロニクス株式会社 (<http://www.renesas.com>)

【問い合わせ先】 <http://japan.renesas.com/inquiry>

MESC TECHNICAL NEWS

No. M7700-113-9911

M37710グループ ユーザーズマニュアル 追加情報 (REV.E)

1993年10月発行の『M37710グループ ユーザーズマニュアル』(印刷番号:HU-026A)に、一部内容の訂正がありましたのでお知らせいたします。本マニュアルをご使用の際は、留意のほど宜しくお願いいたします。

添付の正誤表(REV.E)には、同マニュアルの正誤表(REV.D)(ニュースNo.M7700-78-9801)の内容も記載しています (REV.Eで追加した内容は、左端の 印で示しています)。

なお、機種展開、電気的特性及びツール製品などに関しては、マニュアル発行後に変更があった場合も、追加情報には記載しません。これらは、以下に示す資料の最新版を参照してください。

マイコン機種展開

三菱マイクロコンピュータ 総合カタログ (製本版または三菱マイコン技術情報ホームページ)

電気的特性

データシート (製本版または三菱マイコン技術情報ホームページ)

開発サポートツール

ツール総合カタログ (製本版)

データシート (三菱ツールホームページ)

三菱マイクロコンピュータ開発サポートツール アクセサリガイド

(製本版または三菱ツールホームページ)

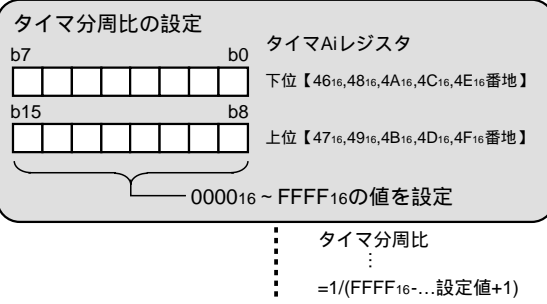
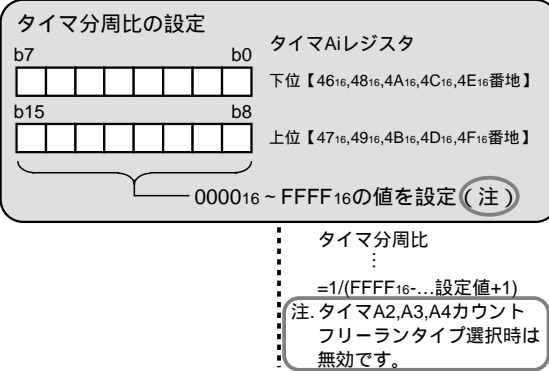
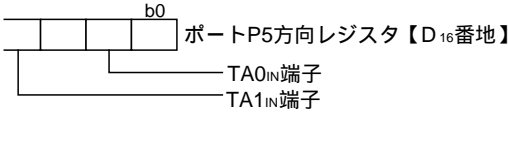
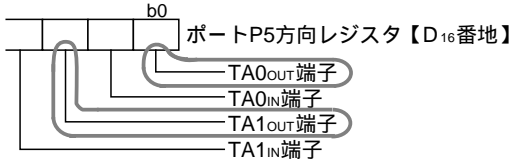
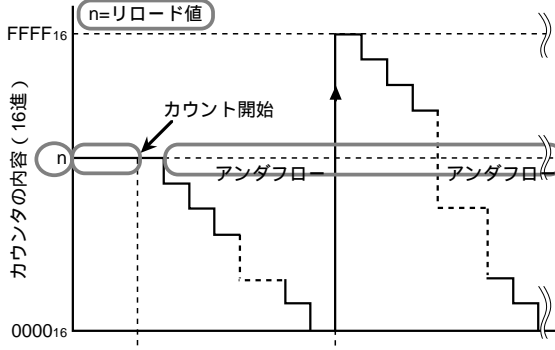
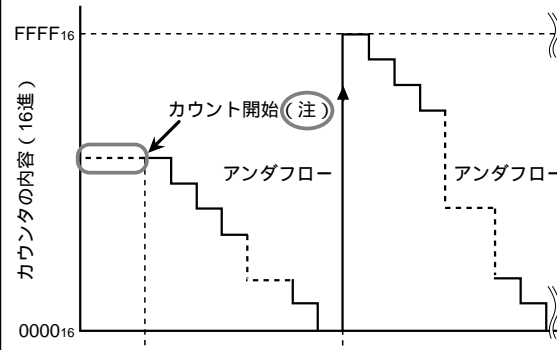
ホームページアドレス

三菱マイコン技術情報 <http://www.infomicom.mesc.co.jp>

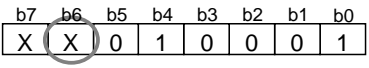
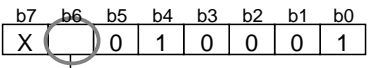
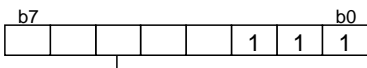
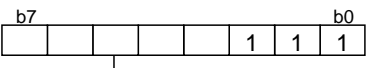
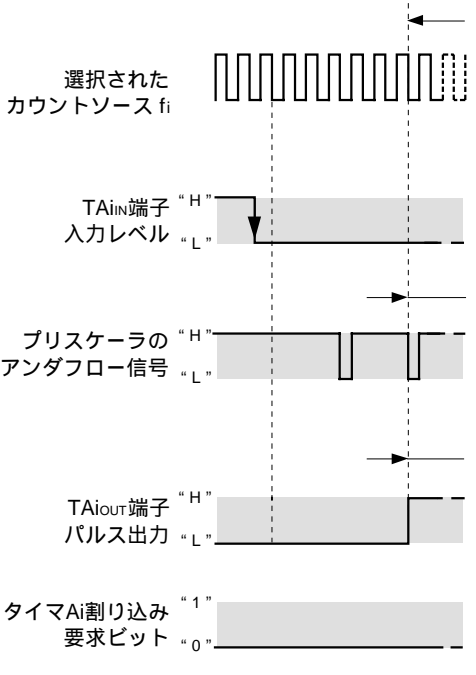
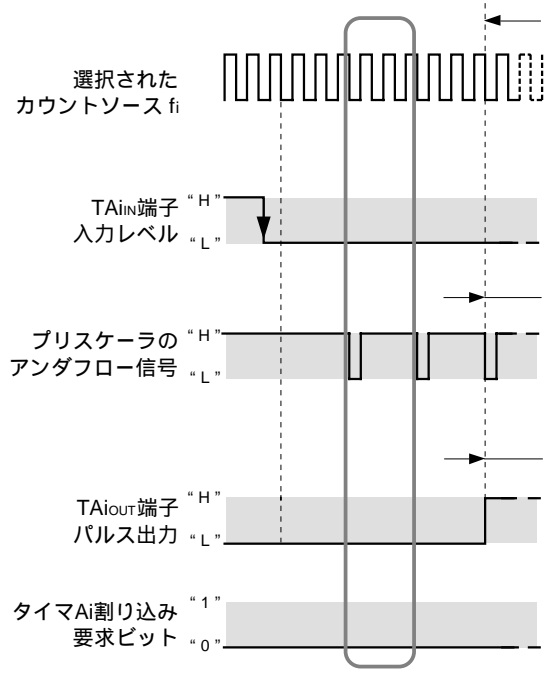
三菱ツール <http://www.tool-spt.mesc.co.jp>

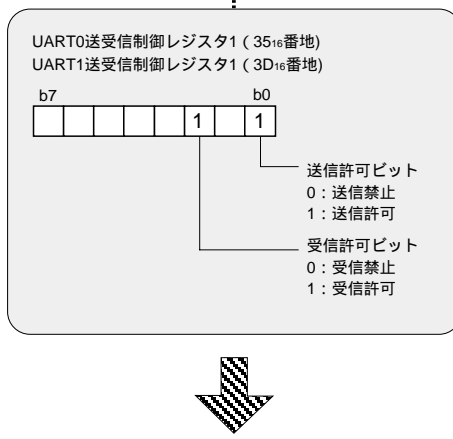
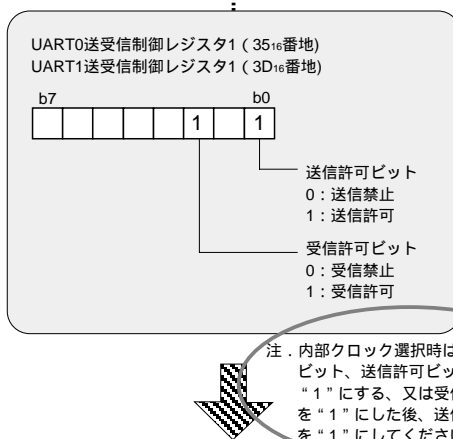
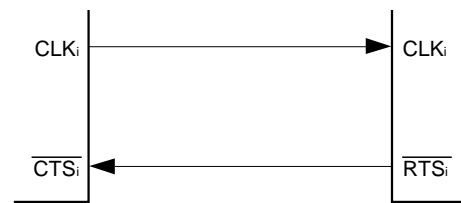
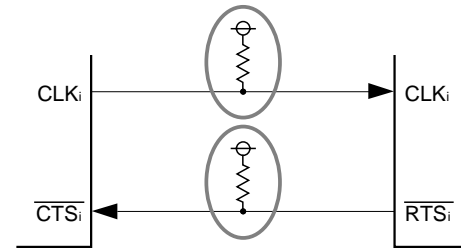
添付：『M37710グループ ユーザーズマニュアル』正誤表(REV. E) 9枚

M37710グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.1


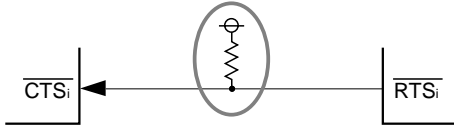
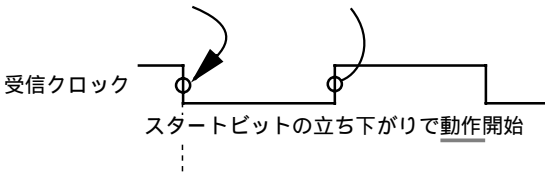
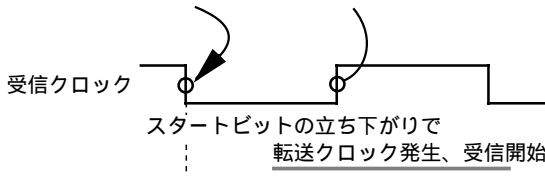
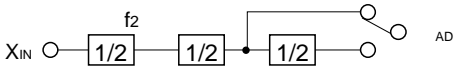
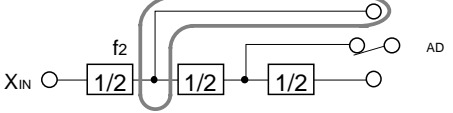
訂正箇所	誤	正
2-7ページ 2.1.9(2) 3行目	...されます。10進演算モード時の加算命令(ADC命令)では、このフラグの内容は無効になります。	...されます。10進演算モード時の加算命令(ADC命令)及び減算命令(SBC命令)では、このフラグの内容は無効になります。
3-34ページ 表3.3.2 3-115ページ 表3.5.3	(注なし)	注．読み出し、及び書き込みは16ビット単位で行ってください。
3-50ページ [タイマモード時の注意事項] 2. 図3.3.14 3-97ページ [タイマモード時の注意事項] 2. 図3.4.10	2. カウント開始フラグを の待ち時間があります。	[タイマモード時の注意事項]の2の文章及び図を削除。
3-53ページ 最終行の後	するとき、カウンタにリロードされます。	するとき、カウンタにリロードされます。 ただし、タイマA2、A3、A4でカウントフリーランタイプを選択時、このレジスタの設定値は無効です。
3-54ページ 図3.3.17		
3-55ページ 図3.3.17 上	<p>ポートP5、P6方向レジスタの設定</p> 	<p>ポートP5、P6方向レジスタの設定</p> 
3-59ページ 図3.3.20	 <p>上記動作図は...場合です。</p>	 <p>上記動作図は...場合です。 注．カウント開始時、カウンタの内容は不定です。</p>

M37710グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.2

訂正箇所	誤	正
3-60ページ 図3.3.21	*1  タイマA2レジスタ タイマA3レジスタ タイマA4レジスタ	*1  タイマA2レジスタ タイマA3レジスタ タイマA4レジスタ カウント動作タイプ選択ビット 0: リロードカウント 1: フリーランカウント
3-76ページ 図3.3.31 上	PWMモードの選択及び各機能の選択  16/8ビットPWMモード選択ビット 10: 16ビットPWMモード 11: 8ビットPWMモード	PWMモードの選択及び各機能の選択  16/8ビットPWMモード選択ビット 0: 16ビットPWMモード 1: 8ビットPWMモード
3-82ページ 下から5行目	...トリガが発生すると設定したパルスの“H”レベル幅分の“L”レベルを出力し、...	...トリガが発生するとTAiout端子は $(1/f_i) \times (m+1) \times (n+1)$ の期間“L”レベルを出力し、...
3-83ページ 図3.3.35		
3-87ページ 最終行の後	レジスタに初期値を書き込んでください。	レジスタに初期値を書き込んでください。 なお、タイマBiレジスタの読み出し、及び書き込みは16ビット単位で行ってください。

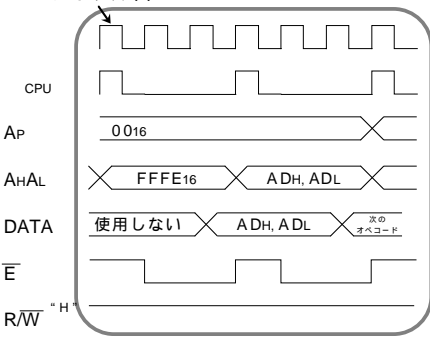
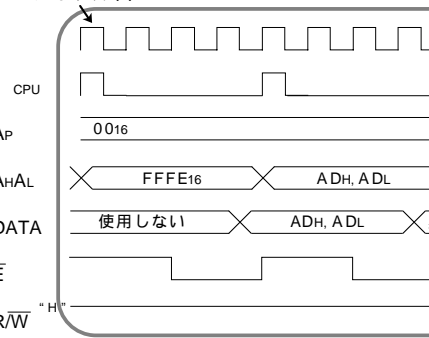
訂正箇所	誤	正
3-111ページ 最終行の後	有効エッジの入力では、割り込み要求は発生しません。	有効エッジの入力では、割り込み要求は発生しません。 4. カウント開始時のカウンタの値は不定です。したがって、カウント開始直後にオーバーフローによってタイマBi割り込み要求が発生することがあります。 5. カウント開始後に測定モード選択ビットの変更を行うと、タイマBi割り込み要求ビットが“1”になります。 測定モード選択ビットに以前と同じ値を書き込んだ場合は、割り込み要求ビットは変化しません。 6. TBiIn端子の入力信号がノイズなどの影響を受けると、正確な測定が行えない場合があります。測定値が一定の範囲内にあることを、ソフトウェアで確認することを推奨します。
3-159ページ 下から2行目 と最終行の間	...リセット時は不定です。 図3.6.8にシフトクロック発生部の...	...リセット時は不定です。 なお、31 ₁₆ 番地、39 ₁₆ 番地に書き込むと、送受信中か停止中かに関わらずタイマとリロードレジスタの両方に書き込まれます。したがって、これらの番地に書き込む場合は、送受信停止中に書き込んでください。 図3.6.8にシフトクロック発生部の...
3-161ページ 下から4行目	ます。 “1” にセットされた割り込み要求ビットは、 ...	ます。ただし、オーバーランエラーの場合は変化しません。 “1” にセットされた割り込み要求ビットは、 ...
3-171ページ 図3.6.14 右 上から4つめ	 <p>UART0送受信制御レジスタ1 (35₁₆番地) UART1送受信制御レジスタ1 (3D₁₆番地)</p> <p>b7 b0</p> <p>送信許可ビット 0: 送信禁止 1: 送信許可</p> <p>受信許可ビット 0: 受信禁止 1: 受信許可</p> <p>受信動作開始</p>	 <p>UART0送受信制御レジスタ1 (35₁₆番地) UART1送受信制御レジスタ1 (3D₁₆番地)</p> <p>b7 b0</p> <p>送信許可ビット 0: 送信禁止 1: 送信許可</p> <p>受信許可ビット 0: 受信禁止 1: 受信許可</p> <p>注: 内部クロック選択時は、受信許可ビット、送信許可ビットを同時に“1”にする、又は受信許可ビットを“1”にした後、送信許可ビットを“1”にしてください。</p> <p>受信動作開始</p>
3-172ページ 図3.6.15	 <p>CLK_i</p> <p>CTS_i</p>	 <p>CLK_i</p> <p>CTS_i</p>

M37710グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.4

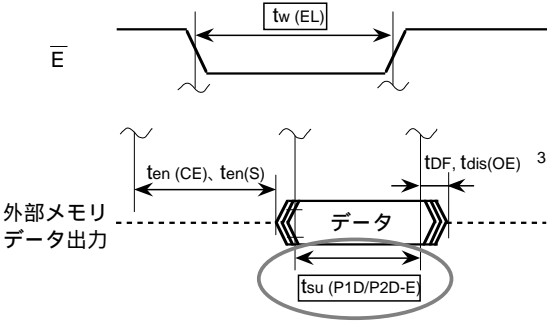
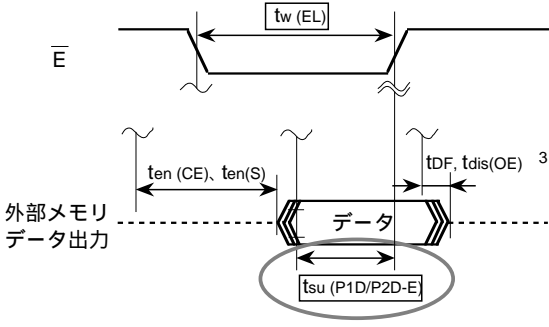
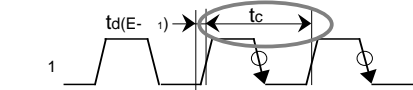
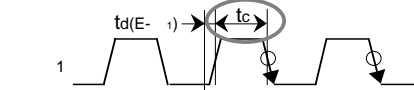
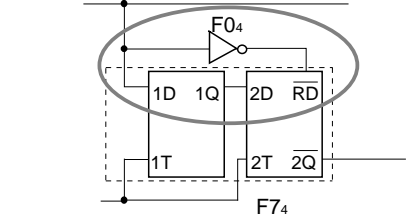
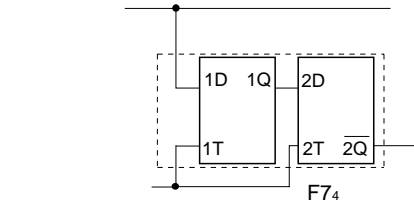
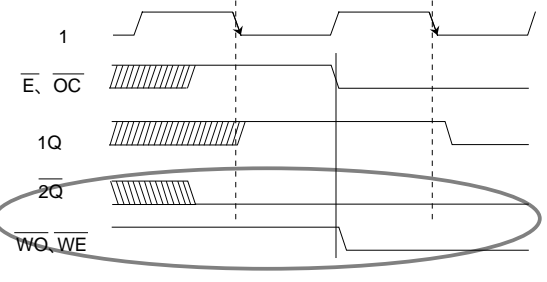
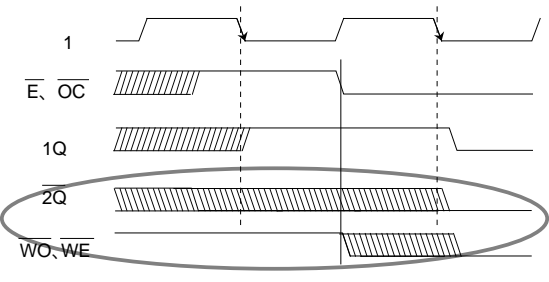
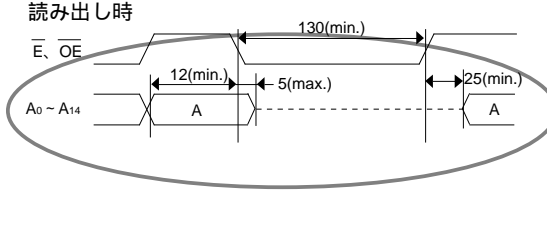
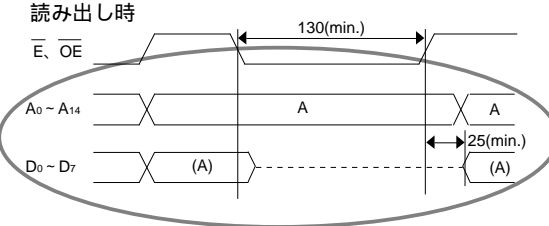
訂正箇所	誤	正				
3-174ページ 下から 4~3行目	...割り込み要求ビットは“1”にセットされません。	...割り込み要求ビットは <u>変化しません</u> 。				
3-174ページ 最終行の後	...ダミーデータを設定してください。	...ダミーデータを設定してください。 6. データを連続して受信する場合、ソフトウェアによってエラーフラグを読み出してからUARTi受信バッファレジスタを読み出すまでの間に次のデータを受信したとき、オーバーランエラーは検出できません。				
3-187ページ (6) 13行目	及び の動作を繰り返し、 <u>STからSPまでの一組のデータを受信すると</u> 、UARTi受信レジスタの内容は...	及び の動作を繰り返し、 <u>一組のデータが揃う(選択したデータフォーマットに見合う回数シフトする)</u> と、UARTi受信レジスタの内容は...				
3-188ページ 図3.6.24						
3-188ページ 図3.6.25						
3-189ページ (7) 12行目の後	エラーフラグが“1”にセットされます。	エラーフラグが“1”にセットされます。 <u>UARTi受信割り込み要求ビットは変化しません。</u>				
3-190ページ 最終行の後	...送信バッファレジスタに送信データを設定する。	...送信バッファレジスタに送信データを設定する。 [UART使用時の注意事項] データを連続して受信する場合、ソフトウェアによってエラーフラグを読み出してから、UARTi受信バッファレジスタを読み出すまでの間に次のデータを受信したとき、オーバーランエラーは検出できません。				
3-195ページ 図3.7.2 上	A-D変換速度選択 	A-D変換速度選択 				
3-196ページ 図3.7.3 11-11ページ	<table border="1" data-bbox="379 1756 826 1823"> <tr> <td>7</td> <td>A-D変換周波数(AD)選択フラグ</td> </tr> </table> <p>注1 ⋮ 注4</p>	7	A-D変換周波数(AD)選択フラグ	<table border="1" data-bbox="927 1756 1430 1823"> <tr> <td>7</td> <td>A-D変換周波数(AD)選択フラグ0 (注5)</td> </tr> </table> <p>注1 ⋮ 注4</p> <p>注5. A-D変換周波数選択フラグ1(1F₁₆番地のビット4)が“0”のとき有効です。 A-D変換周波数選択フラグ1(1F₁₆番地のビット4)が“1”のときは“0”に固定してください。</p>	7	A-D変換周波数(AD)選択フラグ0 (注5)
7	A-D変換周波数(AD)選択フラグ					
7	A-D変換周波数(AD)選択フラグ0 (注5)					

訂正箇所	誤	正																																																								
3-200ページ 1、2、3~4 行目	A-D変換周波数選択フラグ(ビット7) A-D変換周波数選択フラグは、A-D変換器の動作クロック(f_{AD})を選択するビットです。 <u>このビットが“0”のときは外部クロック入力周波数$f(X_{IN})$を8分周したクロック、“1”のときは$f(X_{IN})$を4分周したクロックが選択されます。</u> 単発モード、...	A-D変換周波数選択フラグ0(ビット7) A-D変換周波数選択フラグ0と1は、A-D変換器の動作クロック(f_{AD})を選択するビットです。 単発モード、...																																																								
3-200ページ 表3.7.6 3-213ページ 表3.7.16	表3.7.6 A-D変換周波数選択フラグと変換時間の関係 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>A-D変換周波数選択フラグ</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>...</td> <td>...</td> <td>...</td> </tr> </table>	A-D変換周波数選択フラグ	0	1	表3.7.6 A-D変換周波数選択フラグと変換時間の関係 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>A-D変換周波数選択フラグ1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>A-D変換周波数選択フラグ0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> </table> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>0</td> <td colspan="2">1</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>$f(X_{IN})$</td> <td>$f(X_{IN})$</td> <td>$f(X_{IN})$</td> <td colspan="2">(予約) 選択禁止</td> </tr> <tr> <td>$AD = \frac{f(X_{IN})}{8}$</td> <td>$AD = \frac{f(X_{IN})}{4}$</td> <td>$AD = \frac{f(X_{IN})}{2}$</td> <td colspan="2"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">49 x AD</td> <td colspan="3">-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">59 x AD</td> <td colspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>15.68 μs</td> <td>7.84 μs</td> <td>3.92 μs</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <td>18.88 μs</td> <td>9.44 μs</td> <td>4.72 μs</td> <td colspan="2">-</td> </tr> </table>	A-D変換周波数選択フラグ1	0	1			A-D変換周波数選択フラグ0	0	1	0	1		0	1				0	1	0	1	$f(X_{IN})$	$f(X_{IN})$	$f(X_{IN})$	(予約) 選択禁止		$AD = \frac{f(X_{IN})}{8}$	$AD = \frac{f(X_{IN})}{4}$	$AD = \frac{f(X_{IN})}{2}$			49 x AD		-			59 x AD		-			15.68 μ s	7.84 μ s	3.92 μ s	-		18.88 μ s	9.44 μ s	4.72 μ s	-	
A-D変換周波数選択フラグ	0	1																																																								
...																																																								
A-D変換周波数選択フラグ1	0	1																																																								
A-D変換周波数選択フラグ0	0	1	0	1																																																						
	0	1																																																								
	0	1	0	1																																																						
$f(X_{IN})$	$f(X_{IN})$	$f(X_{IN})$	(予約) 選択禁止																																																							
$AD = \frac{f(X_{IN})}{8}$	$AD = \frac{f(X_{IN})}{4}$	$AD = \frac{f(X_{IN})}{2}$																																																								
49 x AD		-																																																								
59 x AD		-																																																								
15.68 μ s	7.84 μ s	3.92 μ s	-																																																							
18.88 μ s	9.44 μ s	4.72 μ s	-																																																							
3-201ページ 図3.7.4 11-12ページ	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>b7</td><td>b6</td><td>b5</td><td>b4</td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> A-D制御レジスタ1【1F ₁₆ 番地】 4 “0”に固定してください。	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0				0					<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>b7</td><td>b6</td><td>b5</td><td>b4</td><td>b3</td><td>b2</td><td>b1</td><td>b0</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> A-D制御レジスタ1【1F ₁₆ 番地】 4 A-D変換周波数選択フラグ1 0: A-D変換周波数選択フラグ0有効 1: $f(X_{IN})/2$ を選択	b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																																			
			0																																																							
b7	b6	b5	b4	b3	b2	b1	b0																																																			
3-215ページ 3-218ページ 3-222ページ 3-227ページ 3-232ページ	A-D制御レジスタ0 : ビット5はトリガ選択ビット、ビット7はA-D変換周波数選択フラグです。 : A-D制御レジスタ1 : ビット4は“0”に固定してください。 :	A-D制御レジスタ0 : ビット5はトリガ選択ビット、ビット7はA-D変換周波数選択フラグ0です。 : A-D制御レジスタ1 : ビット4はA-D変換周波数選択フラグ1です。このビットについては「3.7.5 A-D動作モード」を参照してください。 :																																																								
3-216ページ 図3.7.12 3-219ページ 図3.7.14 3-223ページ 図3.7.16 3-228ページ 図3.7.18 3-233ページ 図3.7.20	A-D制御レジスタ0、1の設定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>b7</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td> </tr> </table> A-D制御レジスタ0【1E ₁₆ 番地】 A-D変換周波数(f_{AD})選択フラグ 0: $f(X_{IN})$ の8分周クロック 1: $f(X_{IN})$ の4分周クロック	b7			0			0	A-D制御レジスタ0、1の設定 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>b7</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td>0</td> </tr> </table> A-D制御レジスタ0【1E ₁₆ 番地】 A-D変換周波数(f_{AD})選択フラグ0 A-D変換周波数選択フラグ1が“0”のとき 0: $f(X_{IN})$ の8分周クロック 1: $f(X_{IN})$ の4分周クロック A-D変換周波数選択フラグ1が“1”のとき “0”固定	b7			0			0																																										
b7			0			0																																																				
b7			0			0																																																				
各上枠	<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>b7</td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> A-D制御レジスタ1【1F ₁₆ 番地】	b7			0				<table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>b7</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> A-D制御レジスタ1【1F ₁₆ 番地】 A-D変換周波数(f_{AD})選択フラグ1 0: A-D変換周波数選択フラグ0有効 1: $f(X_{IN})$ の2分周クロック	b7																																																
b7			0																																																							
b7																																																										

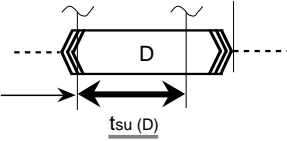
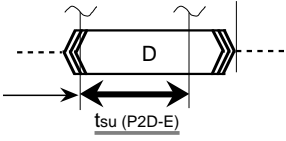
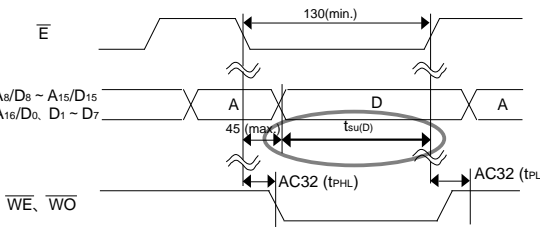
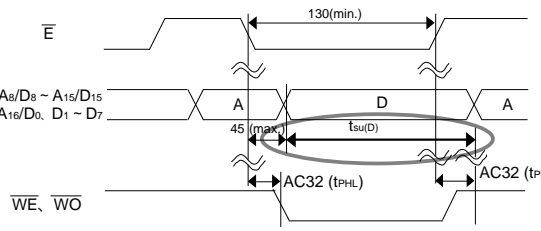
M37710グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.6

訂正箇所	誤	正																		
3-246ページ (3) 10行目	...、正常なルーチンに復帰します(「9.4.9 監視タイマ設定例」参照)。	...、正常なルーチンに復帰します。 <u>プログラム暴走時は、データバンクレジスタ(DT)、ダイレクトページレジスタ(DPR)などの値が変化している可能性があります。DT、DPRなどを使用するアドレッシングモードによってソフトウェアリセットビットに“1”を書き込む場合は、DT、DPRなどの値を再設定してください。</u>																		
3-248ページ 下から4行目	...受け付けられません。したがって、受け付ける必要のない割り込みの...	...受け付けられません(ただし、INT割り込みのレベルセンス使用時、割り込み要求は保持されないため、監視タイマの最上位ビットが“0”になった時点で、INT端子が無効レベルになっていると受け付けられません)。したがって、受け付ける必要のない割り込みの...																		
3-251ページ 下から2行目 ~最終行	2. マスクROM版でSTP命令を使用する場合は、マスクオプションで“STP命令無効”を選択してください(PROM...)。	2. <u>プログラムが暴走し、偶然STP命令のコード(DB16)を実行してしまうと、監視タイマが停止しますので、マスクROM版でSTP命令を使用する場合は、マスクオプションで“STP命令無効”を選択することをお奨めします(PROM...)。</u>																		
5-3ページ 図5.1.1 (2) の 6サイクル目 以降																				
5-7ページ 表5.1.1	<p>表5.1.1 マスクROM版のマイクロプロセッサモード時、及びROM外付け版におけるハードウェアリセット中のバス状態</p> <table border="1" data-bbox="343 1422 869 1736"> <thead> <tr> <th>端子</th> <th>リセット中の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ポートP0~P2</td> <td>アドレス出力(“H”又は“L”レベルいずれかは不定)</td> </tr> <tr> <td>E、ポートP30(R/W)</td> <td>“H”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP31(BHE)</td> <td>“H”又は“L”レベルを出力(アドレス出力の内容によって変化)</td> </tr> <tr> <td>ポートP32(ALE)</td> <td>“L”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP42(1)</td> <td>動作</td> </tr> </tbody> </table>	端子	リセット中の状態	ポートP0~P2	アドレス出力(“H”又は“L”レベルいずれかは不定)	E、ポートP30(R/W)	“H”レベルを出力	ポートP31(BHE)	“H”又は“L”レベルを出力(アドレス出力の内容によって変化)	ポートP32(ALE)	“L”レベルを出力	ポートP42(1)	動作	<p>表5.1.1 マスクROM版のマイクロプロセッサモード時におけるハードウェアリセット中のバス状態</p> <table border="1" data-bbox="917 1400 1444 1646"> <thead> <tr> <th>端子</th> <th>リセット中の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E</td> <td>“H”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP0~P2、 ポートP30(R/W)、 ポートP31(BHE)、 ポートP32(ALE)、 ポートP33(HLDA)、 ポートP42(1)</td> <td>フローティング</td> </tr> </tbody> </table>	端子	リセット中の状態	E	“H”レベルを出力	ポートP0~P2、 ポートP30(R/W)、 ポートP31(BHE)、 ポートP32(ALE)、 ポートP33(HLDA)、 ポートP42(1)	フローティング
端子	リセット中の状態																			
ポートP0~P2	アドレス出力(“H”又は“L”レベルいずれかは不定)																			
E、ポートP30(R/W)	“H”レベルを出力																			
ポートP31(BHE)	“H”又は“L”レベルを出力(アドレス出力の内容によって変化)																			
ポートP32(ALE)	“L”レベルを出力																			
ポートP42(1)	動作																			
端子	リセット中の状態																			
E	“H”レベルを出力																			
ポートP0~P2、 ポートP30(R/W)、 ポートP31(BHE)、 ポートP32(ALE)、 ポートP33(HLDA)、 ポートP42(1)	フローティング																			
5-7ページ 表5.1.2	<p>表5.1.2 ワンタイムPROM版、及びEPROM版のマイクロプロセッサモード時におけるハードウェアリセット中のバス状態</p> <table border="1" data-bbox="343 1848 869 2072"> <thead> <tr> <th>端子</th> <th>リセット中の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E、ポートP30(R/W)</td> <td>“H”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP31(BHE)</td> <td>“H”又は“L”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP32(ALE)</td> <td>“L”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP42(1)</td> <td>動作</td> </tr> </tbody> </table>	端子	リセット中の状態	E、ポートP30(R/W)	“H”レベルを出力	ポートP31(BHE)	“H”又は“L”レベルを出力	ポートP32(ALE)	“L”レベルを出力	ポートP42(1)	動作	<p>表5.1.2 ワンタイムPROM版、EPROM版、及びROM外付け版のマイクロプロセッサモード時におけるハードウェアリセット中のバス状態</p> <table border="1" data-bbox="917 1848 1444 2083"> <thead> <tr> <th>端子</th> <th>リセット中の状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E</td> <td>“H”レベルを出力</td> </tr> <tr> <td>ポートP30(R/W)、 ポートP31(BHE)、 ポートP32(ALE)、 ポートP33(HLDA)、 ポートP42(1)</td> <td>フローティング</td> </tr> </tbody> </table>	端子	リセット中の状態	E	“H”レベルを出力	ポートP30(R/W)、 ポートP31(BHE)、 ポートP32(ALE)、 ポートP33(HLDA)、 ポートP42(1)	フローティング		
端子	リセット中の状態																			
E、ポートP30(R/W)	“H”レベルを出力																			
ポートP31(BHE)	“H”又は“L”レベルを出力																			
ポートP32(ALE)	“L”レベルを出力																			
ポートP42(1)	動作																			
端子	リセット中の状態																			
E	“H”レベルを出力																			
ポートP30(R/W)、 ポートP31(BHE)、 ポートP32(ALE)、 ポートP33(HLDA)、 ポートP42(1)	フローティング																			

M37710グループ ユーザーズマニュアル(印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.7

訂正箇所	誤	正
9-8ページ 図9.1.4	 <p>外部メモリ データ出力</p>	 <p>外部メモリ データ出力</p>
9-12ページ 図9.1.6	 <p>左図で、$t_{su}(RDY-1)$ 55nsを満たす条件はt_c 127nsです。</p>	 <p>左図で、$t_{su}(RDY-1)$ 55nsを満たす条件はt_c 63.5nsです。</p>
9-13ページ 図9.1.7	1 ~ 3 伝搬遅延時間の合計が $\frac{2 \times 10^{-9}}{f(XIN)} - t_{su}(RDY-1)$	1 ~ 3 伝搬遅延時間の合計が $\frac{2 \times 10^{-9}}{f(XIN)} - t_{su}(RDY-1)$
9-18ページ 図9.1.11	 <ol style="list-style-type: none"> 伝搬遅延時間20ns以内のものが使用できます。 出力イネーブル時間が5ns以上、出力ディスエーブル時間が25ns以内のものが使用できます。 	 <ol style="list-style-type: none"> 伝搬遅延時間42.5ns以内のものが使用できます。 出力イネーブル時間が5ns以上、出力ディスエーブル時間が47.5ns以内のものが使用できます。
9-19ページ 図9.1.12 書き込み時		
9-20ページ 図9.1.13	<ol style="list-style-type: none"> 伝搬遅延時間15ns以内のものが使用できます。 伝搬遅延時間25ns以内のものが使用できます。 	<ol style="list-style-type: none"> 1、2 伝搬遅延時間15ns以内のものが使用できます。ただし、WEよりSの方が後、又は同時に立ち下がるようにしてください。
9-21ページ 図9.1.14	<p>読み出し時</p> 	<p>読み出し時</p> 

M37710グループ ユーザーズマニュアル (印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.8

訂正箇所	誤	正
9-21ページ 図9.1.14 9-23ページ 図9.1.16 9-25ページ 図9.1.18	読み出し時 外部RAM (ROM、メモリ) データ出力 	読み出し時 外部RAM (ROM、メモリ) データ出力 
9-22ページ (2) 1行目	図9.1.15にマイクロ..... 1 M <u>バイト</u> のROMを	図9.1.15にマイクロ..... 1 M <u>ビット</u> のROMを
9-22ページ 図9.1.15	1 伝搬遅延時間 <u>50ns</u> 以内のものが使用できます。 2 伝搬遅延時間 <u>42ns</u> 以内のものが使用できます。	1 伝搬遅延時間 <u>42ns</u> 以内のものが使用できます。 2 伝搬遅延時間 <u>50ns</u> 以内のものが使用できます。
9-25ページ 図9.1.18	書き込み時 	書き込み時 
9-31ページ 図9.2.1の文 1行目	このプログラム例では、 <u>00FFFF</u> ₁₆ 、 <u>010000</u> ₁₆ 番地へ <u>0000</u> ₁₆ を書き込む命令の...	このプログラム例では、 <u>01FFFF</u> ₁₆ 、 <u>020000</u> ₁₆ 番地へ <u>0000</u> ₁₆ を書き込む命令の...
10-6ページ 10.2.2 9行目、 14行目	プログラム領域は、 <u>8000</u> ₁₆ ~ <u>FFFF</u> ₁₆ 番地を指定してください(注)。 ∴ 注. M37710E8BXXXFP、... <u>1000</u> ₁₆ ~ <u>FFFF</u> ₁₆ 番地を指定してください。	プログラム領域は、 <u>8000</u> ₁₆ ~ <u>FFFF</u> ₁₆ 又は <u>18000</u> ₁₆ ~ <u>1FFFF</u> ₁₆ 番地を指定してください(注)。 ∴ 注. M37710E8BXXXFP、... <u>1000</u> ₁₆ ~ <u>FFFF</u> ₁₆ 又は <u>11000</u> ₁₆ ~ <u>1FFFF</u> ₁₆ 番地を指定してください。
10-16ページ 10.3 3行目と 4行目の間	...電源の投入時は特に注意してください。 【ワнтаイムPROM版】	...電源の投入時は特に注意してください。 内蔵PROM版には、CNVss(V _{PP})端子から直接配線が導かれているため、ノイズが侵入し易くなっています。ノイズ対策としてCNVss(V _{PP})端子の配線には、以下に示す処理を行ってください。 ・シングルチップモード、又はメモリ拡張モード CNVss(V _{PP})端子は、マイクロコンピュータのV _{ss} 端子に最短距離で接続してください。 配線距離を短くできない場合は、5k程度の抵抗を介して、CNVss(V _{PP})端子とV _{ss} を接続してください。抵抗は可能な限りCNVss(V _{PP})端子に近い位置に接続してください。 ・マイクロプロセッサモード CNVss(V _{PP})端子は、マイクロコンピュータのV _{cc} 端子に最短距離で接続してください。 【ワнтаイムPROM版】

M37710グループ ユーザーズマニュアル (印刷番号HU-026A) 正誤表(REV.E) No.9

訂正箇所	誤	正																		
11-28ページ 表1	<p>表1. ストップモード、ウェイトモード、...</p> <table border="1" data-bbox="331 277 874 313"> <tr> <td>状態</td> <td>ストップモード</td> <td>ウェイトモード</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="331 331 874 367"> <tr> <td>内蔵周辺装置</td> <td>停止</td> <td>動作</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="331 385 874 501"> <tr> <td>解除方法</td> <td>ハードウェアリセット、 又は外部クロックを 使用する割り込みの 割り込み要求発生</td> <td>ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生</td> </tr> </table> <p>注1. ウェイトビットは...</p> <p>注3. ストップモードについては「3.10 ストップモード」...</p>	状態	ストップモード	ウェイトモード	内蔵周辺装置	停止	動作	解除方法	ハードウェアリセット、 又は外部クロックを 使用する割り込みの 割り込み要求発生	ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生	<p>表1. ストップモード、ウェイトモード、...</p> <table border="1" data-bbox="906 277 1449 313"> <tr> <td>状態</td> <td>ストップモード</td> <td>ウェイトモード</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="906 331 1449 367"> <tr> <td>内蔵周辺装置</td> <td>停止 (注3)</td> <td>動作</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="906 385 1449 501"> <tr> <td>解除方法</td> <td>ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生 (注4)</td> <td>ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生</td> </tr> </table> <p>注1. ウェイトビットは...</p> <p>注3. 発振が停止しますので、内部クロックを使用する内蔵周辺装置は停止します。以下に示す内部クロックを用いない内蔵周辺装置は動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タイマ (イベントカウンタモード時) ・シリアルI/O (外部クロック時) <p>注4. ストップモードの割り込み要求発生による解除方法を以下に示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外部割り込み ・UARTi送受信割り込み (外部クロック選択時) ・タイマ割り込み (イベントカウンタモード時) <p>注5. ストップモードについては「3.10 ストップモード」...</p>	状態	ストップモード	ウェイトモード	内蔵周辺装置	停止 (注3)	動作	解除方法	ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生 (注4)	ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生
状態	ストップモード	ウェイトモード																		
内蔵周辺装置	停止	動作																		
解除方法	ハードウェアリセット、 又は外部クロックを 使用する割り込みの 割り込み要求発生	ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生																		
状態	ストップモード	ウェイトモード																		
内蔵周辺装置	停止 (注3)	動作																		
解除方法	ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生 (注4)	ハードウェアリセット、 又は割り込み要求発生																		